

a 学校教育目標	「まなび つながり みらいを創る」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命)社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成 【ビジョン】(自校の将来像)学びを通して深くつながり、つながりを通して豊かに学び、ともに未来を描く学校
----------	-------------------	----------------------	---

評価計画				自己評価					改善方針	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	1月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力の育成	基礎学力の定着	○家庭学習の習慣化 ○放課後学習の徹底と内容の精選 ○「本時の問い」と「振り返り(R80)」のつながりを意識した授業改善	実力テスト (「知・技」B評価以上の生徒の割合)	80%	86.6%	84.5%	105.6%	A	・2学期の実力テストにおいて1、3年生はそれぞれ92%、88%が達成し、特に1年生は1学期からさらに2ポイント伸びた。2年生は目標値に達しなかったが、C評価が減少した。個に見合ったテスト前後の補充学習、各教科の小テスト等による反復ドリル学習の積み重ねの成果と考える。	・支援を要する生徒への個別指導を継続して行う。 ・生徒の課題実態に沿った放課後学習の精選。 ・家庭学習時間の確保と充実・定着を図るための教科課題の設定。	○			・授業改善と補充学習、小テストなどの繰り返し学習を計画的に実施された成果が出てきている。 ・2年生の授業参観について、前回参観した時は遠慮して発言していた生徒だったが、今回は積極的に発言して成長が感じられた。
	主体的な学びの充実	○生徒自身が思いや考えを基に思考したり表現する場の設定と多様な学習形態の展開(グループ学習、ペア学習、個別最適な学び等) ○読解力育成(実態把握と定期試験問題の見直し) ○効果的なICT機器の活用 ○「総合的な学習の時間」での、生徒の主体的な学習の場の設定	前期:実力テスト (「思・判・表」B評価以上の生徒の割合) 後期:標準学力調査 (「思・判・表」の5教科平均)	前期:80% 後期:全国比80%	84.6%	実力テスト81.7% 標準学力89.0%	実力テスト102% 標準学力111%	A	・達成値81.7%で、目標値を上回った。2学期実施した実力テストにおいて1、3年生はどちらも80%以上を達成し、2年生は達しなかった。しかし、1学期A評価が全体の17%だったのに対して、2学期は40%に向上した。「問いを問う問題」の発問設定や、個別最適な学習形態を組み合わせるなど、生徒が主体的に考える場の設定を仕組むことができた。	・ペア学習など、生徒一人ひとりが自分の思いや考えを持ち、表現できる場を設けて学びを深める。 ・生徒が主体的に学習できる場を仕組む授業改善に取り組む。	○			・各学年、それぞれ良い結果が得られ先生達の取り組み方のおかげだと思います。 ・今後も生徒が集中した学習ができるよう、工夫した授業を提供してください。 ・目標の達成は適正にされていると思いました。家庭学習を把握することは難しいですね。放課後学習の取組がしっかりされているので成果が出ているのかと思います。
豊かな心・健やかな体の育成	自己認識と自尊感情の向上	○縦割り集団を生かした地域貢献活動や校内活動の計画実施 ○生徒の主体的な取組や頑張りへの肯定的評価	生徒アンケート肯定的評価の割合 <項目>縦割り班での活動や生徒会活動は、自分の成長につながっている	80%	90.4%	84.2%	105.2%	A	達成値が84.2%となり、目標値を上回った。10月の達成値より下がった原因は、自分の成長について、周りと比べたり、自分の目標と比較して、慎重に振り返っている生徒がいるためと考える。	新しく取り組むことや、大きな変化だけを意識するのではなく、日々の活動をしっかり評価していく。また、これまでの取組も意義や内容を生徒たちに伝え、主体的に取り組ませる。	○			・少人数の良さが出ている。グループの編成や内容の変更などに取り組まれ、主体的に取り組む生徒の育成に取り組まれている。
	生徒指導・教育相談活動の充実	○生徒アンケート・i-check等による実態把握と組織での早期対応	生徒アンケート肯定的評価の割合 <項目>先生は気軽に相談に応じてくれる	80%	95.2%	79.0%	98.0%	B	達成値が79%となり、目標値に達することができなかった。2学期以降、2年生は職場体験学習や生徒会役員選挙、3年生は進路決定に向け、苦手なことに向き合ったり、自身で考えたことを求めたりする場面も多くなったことが影響したと考える。	生徒にとって必要な指導は継続しながら、教員間でしっかり情報共有し教員全体で、生徒への声かけをしていく。また、定期的な個人懇談を継続して行う。	○			・自分でお弁当を作ることが難しかったりする家庭もあるので、親子で調理実習も栄養の勉強もしながら出来るといいなと思います。 ・先生と生徒が密に関わり、適切に一人ひとりに合った声掛けを先生方は継続してあげてほしい。 ・自分の健康を考える生徒が一人でも増えるといい。
	体力の向上	○リズムトレーニングによる体力づくりの推進	校内体力テスト (年3回実施) 項目:立幅跳で前年度平均値を超える生徒の割合	50%	43.0%	50.0%	100.0%	A	達成値が50%となり、目標値に達した。1・3年生の男子において記録の伸びがあった。自己の記録の推移を見せたり、生徒が考えた補強運動を授業で紹介することで、興味を持って体を動かすことができたことと考える。	生徒が興味を持ちやすい球技の技術と関連付けながら、全身を使った運動を引き続き取り組む。	○			・修学旅行のお話で生徒さんの様子もわかりました。得るものも多かったのではと思いました。 ・体力づくりに引き続き取り組んでいただきたいです。
	健康教育の推進	○食育の推進(「自分で作るお弁当の日」の実施)	生徒アンケート肯定的評価の割合 <項目>自分の健康を考えるきっかけになっている	80%	95.0%	118.8%	A	「栄養バランスを考えて食事をとることは大切なことだと思う」という項目に、95%の生徒が肯定的評価を示しており、目標値を15%上回ることができた。	自分で作るお弁当の日の取組は、食と健康を結び付けて、自分の健康を考えるきっかけになっている。来年度も、家庭科担当教員と連携し、調理体験を通して自分の健康について考えさせたい。	○			・お弁当作りはたくさんの勉強ができて利点が多いと思います。	
業務改善の推進	子供と向き合う時間の確保	○分掌会議の定例開催と水曜日の放課後の時間を使った校内研修や学年会等の定例化・活性化	教職員アンケート肯定的評価の割合 <項目>生徒と向き合う時間の確保につながっている	80%	90.0%	100.0%	111.1%	A	達成値が100%となり、全教職員から肯定的回答を得られた。前回の報告では、学年会の定例化を挙げているが、職員室内で学年内の共有ができていたので、定例化しなかった。	研修や会議は、原則、部活動が行われない放課後に行うことを今後も継続する。	○			・先生達と生徒の関係性がとても充実していて良かったです。 ・子供と向き合う時間がしっかり取れているので素晴らしいと思います。小学校でも取り入れさせていただきます。 ・子供と向き合う時間の確保に工夫されているのがわかりました。
信頼される学校	開かれた学校づくり、保護者・地域に信頼される学校づくりの推進	○授業参観日や懇談会、学校公開日等の定期実施とその工夫 ○学校だより、HPIによる情報発信	保護者アンケート肯定的評価の割合 <項目>学校の様子がわかる	75%	95.6%	95.2%	126.9%	A	達成値は95.2%となり、上半期とほぼ同程度の結果となった。ホームページも、「第四中学校日記」として毎月内容を更新している。前回の報告の「2カ月先までの行事予定表の配付」は紙面が許す限りお知らせができた。	学校だよりを配付している保護者や町内会、小学校が求めている本校の知りたいこととマッチしているのか、把握する必要がある。	○			・小中の交流で郷土愛を深めてもらいたい。 ・ナグーで学校だより等が送られてくることで、紙だけでなく、より学校の様子がわかって良いと思います。カラーだと見やすく助かっています。 ・成果と課題を分析しより円滑な改善を図ってほしいと思います。
	小中連携教育の推進	○小中連携協議会の定期開催 ○研究授業等の合同研修会や合同行事の計画的な交流	教職員アンケート肯定的評価の割合 <項目>小中連携の取組は、お互いの理解を深め、中学校区として系統的な取組になっている	80%	90.0%	83.3%	104.1%	A	達成値は83.38%で目標値を上回ったが、上半期に比べ6.7%減少した。生徒たちの小中交流行事は下半期では11月に須波小の学習発表会で吹奏楽部が演奏を披露することができた。	次年度の小中交流行事を計画するにあたり、小学校と役割分担を明確にし、達成感を得られて、負担感を感じさせないような取組になるようにさらに工夫していく。	○			・学校だよりで様子がしっかり分かります。地域の方も写真がたくさんでわかりやすいと言われていました。中学生との交流を楽しみにしています。

【j:自己評価 評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

【l:学校関係者評価 評価】
イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。
ハ:分からない。